

# 1. 子育て

## (1) 教育・保育の量の確保と質の向上

具体的事業名	意見	回答	担当課
キャリア教育推進事業	<p>中学校のマナー講座については保護者の評価も高かった。また、地域の事業所の協力を得られ、いろいろな経験を通して働くことへの意識を持ち、実体験できる機会が非常にありがたい。当事者意識を持って臨める課題解決型職場体験というのがよい。ぜひ、子どもたちの将来の夢につながる幅広い事業所で受け入れてもらえるように拡げてほしい。</p>	<p>マナー講座は、職場体験のためだけでなく、社会生活における基本的な立ち居振る舞いを学ぶ機会として今後も継続していきたい。また、課題解決型職場体験は、働く人の「生き方・働き方」についての話を聞いたり、事業所の課題解決に取り組んだりしていくことを通して、生徒が主体的に学んでいくことを今後も重視していく。今後、地元企業の受け入れ先を増やしていきたい。</p>	<p>学校教育課</p>
	<p>子どものニーズに合った体験を一層拡大していく。キャリア教育が学校現場に定着し発展している。</p>	<p>佐渡の自然、歴史、文化を学ぶ体験を今後も継続していく。地元企業や第一次産業分野での事業所の開拓を進め、事業所、学校との連携を図る。</p>	<p>学校教育課</p>
心の教室相談員配置	<p>目標にある「(継続不登校)生徒数を減らす」ことは、結果的に必要な内容だとは思いますが、事業を利用する生徒の満足度も大切な指標だと思います。</p>	<p>事業評価としては、利用児童生徒の満足度も考えられますが、相談にくる課題を抱えている児童生徒に満足度を問うことは、少し難しい課題であると考えます。その時の子ども達の状態や状況にもよりますので、指標にできるかどうか、今後の検討課題とさせていただきます。</p>	<p>学校教育課</p>
	<p>子どもたちにとって別室登校の子がいるのが当たり前のような非常に身近な問題。毎年「小学校には人員が配置できなかった」という結果、進捗報告が続かないように早期介入できるようにしてほしい。</p>	<p>予算的な問題があり配置人数に限られる中、別室登校の児童が出るかは、その年度になってみないと分かりません。中学校は、思春期の難しい年頃であり小学校に比して生徒数が多い学校が多く、不登校や別室登校の生徒が出る率が高く、複数名の生徒が出そうな学校を優先しているのが現状です。</p>	<p>学校教育課</p>
	<p>小学校への早期対応が重要。復帰が難しく、防止が(早期解決が)求められる。配置等の努力が成果として表れてる。</p>	<p>小学校への早期対応が重要なことは、同感です。ただ、相談員を配置した学校に別室登校の児童がでるかは、分からないところもあるので不登校の児童生徒の発生日状況を見たとで配置を考えています。</p>	<p>学校教育課</p>
佐渡産物を使用した「佐渡イチオシ食材」 (旧 佐渡産物を使用した統一献立)	<p>給食だよりの裏面を見るのが楽しみになっている。旬の地元食材を知り、家庭の食卓につながる情報発信の一つとしてよい。以前も意見をしましたが、ぜひ、メニューに対して実際にどのような給食なのかを、給食センター発信か、各小中学校のHPで紹介するなどして子どもと給食と仮定をつなげるようにしてほしい。また、イチオシ献立のレシピ紹介もシリーズ化して人気のあるメニューの中でも作りやすいものをどんどん紹介するなどしてほしい。</p>	<p>今のところ、システムの都合で佐渡市HPにイチオシ食材・給食レシピを掲載しています。また、HPの内容については、学校栄養士と内容の充実を図るための打ち合わせをしています。</p>	<p>学校教育課</p>
	<p>給食でしか食べられない献立もあり、その解説(一口メモ)などで食への関心が高められている。継続を求める。年々進化が素晴らしい 感謝!</p>	<p>今後もいろいろな場面で食への関心を持ってもらえるよう学校栄養士と連携していきたい。</p>	<p>学校教育課</p>
<p>地域との連携ネットワーク</p>	<p>学校運営協議会、CSディレクターは目標通り設置できたと思うが、動きがよく見えない。また地域には全く理解されていない。活動内容も団体やCSディレクターによつての差もあるかもしれない。大勢のメンバーを集めて、当日、各校のランドデザインの資料について読み上げられ意見を言うように言われても踏み込んだ意見は出せないとの声が多い。枠組みを作っているだけ、機能していないところが多いと思う。</p>	<p>学校運営協議会の運営がうまくいっている所となかなかうまくいっていない所があるのは事実です。改善に向けて、今年度も3回講師を招聘した研修会を持ち、情報交換したり他地区の実践を聞いたりする機会を持ちました。今後も、議事録の提出により各運営協議会で話し合われたことを共有し、教育指導主事が会に参加して地域とのつながりを大切にしていけるように支援していきます。</p>	<p>学校教育課</p>

(2) 子どもや母親の健康確保と育成医療の推進

具体的事業名	意見	回答	担当課
妊婦保健指導	一年に生まれる子どもの数が急激に減っている。仲間づくりの一環としてもパパママセミナーの対象を全体に広げたいかがか。	令和4年度から初産以外の方も参加できるよう見直しました。(おおむね妊娠6~7か月の妊婦とパートナーの方)	健康医療対策課
新生児・乳児訪問事業	出産後、地域の保健師、栄養士に支えられて子育てをする環境を見ていると、当事者世代だけでなく、家庭環境や地域性もよく理解している地域をよく知る地元職員が配置されていることのメリットを感じる。昨年末の大雪災害の時にも大いに感じたが、地元職員が配置されることを強く希望したい。	地域に寄り添った支援を行うため、可能な限り地元職員を配置しております。	健康医療対策課
乳幼児健診事業			

(3) 親子で学び遊べる場の提供

具体的事業名	意見	回答	担当課
ふれあい家庭学級、親子体験教室	ふれあい家庭学級は地元の公民館などで行われ、週末の親子が参加しやすいプログラムが多かった。いろいろな事業について、どこで何を行っているのか、今、募集がかけられている事業はどんなものがあるのかなど一覧でわかるとよい。また、募集についてQRコードで申し込みができるものが非常にやりやすいとの声を聞いた。働いていると電話やFAXがしにくいとも聞いた。	各地区で地元の保育園及び小学校に年間スケジュールが掲載されている開催チラシを配布。 また、QRコードで申し込みができるようにする。	社会教育課
子育て支援センターの設置・運営	初めて利用する際の敷居を下げるために、乳幼児健診へスタッフが向いたり、子育てサークルなどが参加したりする流れができるとういのではないか。	以前、実施していた時期もあり、一定の宣伝効果もあると思われることから、実施が可能か検討してまいります。 子育てサークルについては、最新の活動状況を子ども若者課で把握していないことから、まずは活動状況を把握することから始めます。	子ども若者課 (子育て支援係)
いのちの授業推進事業	学校によって導入されたりされなかったり、導入されても必ず毎年やるわけではないとなると、非常に良いプログラムでも受けられた児童とそうでない子の差ができてしまう。例えば1/2成人式や、5年の理科の単元になど具体的に学校につながれそうなプログラムを提案して結び付けられたらどうか。	いのちの授業に取り組む学校は毎年実施し定着していますが、未実施の学校がまだ多くあるので、市教委・学校に事業の周知をしていきたいと思えます。小学校では1/2成人式として当初4年生を対象にしましたが、学年を決めない方がやりやすいという現場の声もあり、現在は低学年版・高学年版、中高校生版の3種類で実施しています。お試し体験等も入れ学校と連携し、学校のニーズに合わせた内容で今後も取り組んでいきたいと思えます。	子ども若者課(子ども若者相談センター)
	コロナが落ち着いたら、ぜひ、赤ちゃん面会日的な動きを各校に広げてほしい。自己肯定感を高め、自分が大切にされていることを改めて強く感じられる時間になると思う。	令和4年度、実施に向けて打合せを行いました。前年度に引き続きコロナ感染拡大防止のため、開催を見合わせました。赤ちゃんに接する機会が少なくなっている中、赤ちゃんとその保護者と触れ合いながら自分を見つめなおすことができるとても有効な事業となっています。今後は実施会場を学校にも移せるよう市教委、学校と連携してこの大切な事業を続けてまいります。	子ども若者課(子ども若者相談センター)

## 2. 親育ち

### (2) 子育て支援に関する情報提供・相談体制の充実

具体的事業名	意見	回答	担当課
子育て支援情報の作成、配布	公園や遊び場の情報発信をしているが、そもそも南部に遊び場が少ない。	ご意見のとおり、南部には公園や遊び場が少ない状況であります。新規に公園や遊び場を開設することは難しいと思いますが、ご紹介できる遊び場等があれば随時情報発信していきます。	子ども若者課 (子育て支援係)
子育て支援センター充実事業	未就学児のみの利用に制限せず、シフト制で仕事がお休みの日の親子も利用できるような出来たら、情報交換をするなど仲間づくりの拠点としてさらに良いと思う。	令和5年度より、就園児についても子育て支援センターの利用ができるように対象を拡大しました。産休中のお母さんが、普段は保育園に通う上のお子さんと一緒にセンターを利用するケースも見受けられ、上のお子さんのリフレッシュに繋がっています。	子ども若者課 (子育て支援係)

### 3. 地域育ち

#### (1) 地域における子育て支援サービスの充実

具体的事業名	意見	回答	担当課
子育てエンジョイカード事業	家庭に1枚のため、ほとんど使えないとの声が多い。たまに使えるとやっと使えた!!と思う。	アプリでの配信等も視野に入れ、利用しやすい環境を検討します。	子ども若者課 (子育て支援係)

#### (2) 保育サービスの充実

具体的事業名	意見	回答	担当課
保育料2人目以降無料化事業	現行、兄弟が小学1～3年生の年齢にいることという規定があるが、その条件を撤廃できないか。早めの結婚出産の場合や、なかなか2人目以降が授からず、年齢が離れて出産しているケースもみられる。少子化の勢いが止まらないため、子育て世代の負担を減らしもう一人産んでみようと思える地域づくりをしてほしい。	佐渡市では国の基準を下回る額で保育料を設定するとともに、保育料2人目以降無料化や副食費無償化、子どもが元気なたからしま出生祝金、多子世帯出産成長祝金などの施策により、保護者の皆様の負担軽減に努めているところです。 ご提案いただきました条件撤廃については、さらなる費用負担を必要とするため、直ちに実現することは難しいと考えますが、今後も子育てしやすい環境を整えるための効果的な施策を検討してまいります。	子ども若者課 (園児支援係)

#### (3) 地域との連携ネットワーク

具体的事業名	意見	回答	担当課
青少年健全育成活動事業	『家庭の日』標語コンクールに取り組む学校の差があるのが残念。学校の教職員の理解や積極性によって子どもたちの考える機会の差がうまれるのはもったいない。学校側への働きかけをしてほしい。	各地区の青少年健全育成協議会開催時に協議会委員である各校校長に応募依頼をしているが、今後も積極的に出品をしてもらえるよう呼びかけをしていく。	社会教育課
学校・家庭・地域の連携促進事業	各校の生徒のメディア接触時間に問題がある中で、放課後に交流時間をもてるように環境づくりをお願いしたい。スクールバス利用による活動時間の制限がある。例えば、中学生の部活時間の帰宅バスを一緒にりようできるようにするなど検討できないか。	スクールバス利用について、学校の下校管理が困難等の問題があるが、検討をしていきたい。	社会教育課
	夏休みの小学校や公民館などを会場としてプログラムを行う時も、中学生の部活用スクールバスや路線バスの活用を柔軟にできるように検討いただきたい。	スクールバス利用について、学校の下校管理が困難等の問題があるが、検討をしていきたい。	社会教育課

#### (4) 安心して外出できる環境の整備

具体的事業名	意見	回答	担当課
地域ぐるみの学校安全整備推進事業	現在学区における『子ども110番の家』がどこか分からない状況。子ども安全応援隊一人では学区が広すぎるため、保護者の送迎などを見守り隊として活用してはどうか。	一部の学校運営協議会が主体となって、他の活動をしながら子どもや地域を見守る「ながら見守り」が実施されている(活動ベストを作成している)。活動を実施していない学校運営協議会へも協力をお願いしている。	学校教育課

5. その他の意見

具体的事業名	意見	回答	担当課
その他（意見等）	<p>佐渡市は少子化が進む中、将来の「たからじま」を目指して様々な角度から取り組み結果を出しているが、一番は親育ちの支援が重要だと思う。保育園現場においても保護者の支援＝園児の支援は同等の対応になっています。親の支援が整うことにより、子どもとの親子関係がうまくいき親の愛情のいっぱいの中で子どもたちは育ち成長し社会の一員となっていくのではないのでしょうか。</p> <p>佐渡市は、もっともっと子育て世代に重きを置き佐渡の魅力を再発見し若者の定住を図り、子どもたちに夢や希望をもってもらえるように今後も事業に取り組み「たからじま」を実現させてほしいです。</p>	<p>ご意見のとおり、誰もが安全・安心に子育てを行うことができるような環境を整備し、子育て支援に関する情報の周知と相談体制の充実に取り組み、多様なニーズに対応した保育サービス等を提供できるように努めてまいります。</p>	<p>子ども若者課 （子育て支援係）</p>
その他（意見等）	<p>食育事業で生産者の方が園に来てくれて、お話を聞いたことでお米への興味が出たり、子供と一緒にクッキングをできて普段子育てに追われて、ゆっくりしてあげることができないので、ものすごく貴重な時間でした。園の給食を保護者も一緒に食べることもできて、どのような味付けでどのくらいの量でとか、料理方法も知れてすごく楽しかったし、勉強になった。これからも続けて頂きたいし、佐渡市の給食レシピ本が欲しいぐらいです。</p>	<p>食材や給食の味付け、調理方法に関心をもっていただきありがとうございます。今後も継続して地元生産者や食材に触れる時間を設け、園児や保護者の方々から、食に関心をもていただけるよう努めてまいります。</p>	<p>子ども若者課 （園児支援係）</p>